

毎週 水曜日・木曜日

教採対策講座 継続実施中

1期生一致団結
教採突破目指して

新型コロナウイルス感染防止措置のため、学生は自宅での試験勉強を余儀なくされています。しかし、近々に迫っている教員採用試験に向けての対策も、週1回オンラインでの教採対策講座、及び模擬面接等で着々と進めてきました。

<対策講座の内容>

- ・教採への心構え
- ・願書提出に関する質疑応答
- ・筆記試験に向けての学習指導
- ・論作文課題の添削
- ・面接(集団・個人)に関する指導



<教採出願状況>(併願あり)

- ・長野県 小学校全科 27名
- ・長野県 特別支援学校 5名
- ・新潟県 小学校全科 6名
- ・その他の都道府県 19名

教員を目指す学生にとって、教採への出願は社会人への第一歩です。離れていても心は寄り添い、教職員一同学生たちの人生を心から応援しています。6月第2週からは、一部講義等で登校できるようになり、3密を避けつつ学内での学修が可能となりました。

お互いの存在を感じながら授業に参加する学生たち

2020年度 現場体験型学習の中止について

◆ 1年次「学校ボランティア活動」 ◆ 2年次「学校インターンシップ」

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため上記の活動を中止いたしました。来年度以降の活動に関しましては、引き続きご協力の程よろしくお願いいたします。

なお、初等教育実習、中等教育実習、特別支援学校教育実習につきましては、各学校と時期についてのご相談をさせていただき8月以降実施の予定です。

2020年度 オープンキャンパスについて

● 6月までは中止とさせていただきます。

大学HP WEBキャンパスガイドにて学科紹介がありますのでご覧ください。

● 7月からは、予約制で人数制限をして実施の予定です。(6月15日現在)

※ 詳細は松本大学ホームページ「入試情報サイト」にて順次お知らせいたします。

2020年度 免許更新講習について

★ 今年度予定していた選択講習は、中止となりました。

11月に実施予定の必修・選択必修講習は規模を縮小して実施予定です。

(今後の状況次第では中止となる可能性もあります。)

※ 詳細は大学ホームページ「教員免許状更新講習」にてご確認ください。

完成年度を迎えた教育学部



久々の対面授業に万全の体制で登校する学生たち ~明けない夜はない~

4期生88名が入学し、完成年度を迎えました。

新型コロナウイルス感染防止対策で入学式も一部学生参加での実施となりましたが、5月からは工夫されたオンライン方式の授業が開始され、例年とは異なりませんが、順調な新年度のスタートとなりました。

また、卒業年度となった1期生は、就職活動や進学に向けて着々と準備を進めてきています。

6月末からは、各自治体において教員採用試験が実施されます。教員をめざす学生は、3年間の学びの課程を経てその実力を発揮する時となりました。

新しい生活の仕方、働き方、学び方等が求められる中、変容を求められる社会にも対応できるよう、「ひとづくり」のポリシーを忘れず、地域社会に貢献できる人材の輩出に努めてまいります。

contents

- 教育学部学校教育学科の紹介 p. 2
- 教育実習事前事後指導 p. 3
- 1年間の留学を終えて p. 3
- 教員採用試験対策講座 p. 4
- オープンキャンパス等の予定 p. 4

教育学部学校教育学科の紹介

「基本理念＝地域貢献」

基本理念「地域貢献」を受け、教育学部では「ひとづくり」を担っています。

松本大学を支える3つの柱

1. まちづくり
2. 健康づくり
3. ひとづくり

《教育学部》3. ひとづくり

- ・学校現場だけでなく、どの職種においても活かされる分野。
- ・教育のプロフェッショナルを育成する。

3つの学修コースと取得可能免許状

初等教育

特別支援教育

英語国際教育

- 1) 小学校教諭一種免許状
- 2) 特別支援学校教諭一種免許状
- 3) 中学校・高等学校教諭一種外国語(英語)免許状

* 一定の基準に達していることが必要

他学部により履修可能な免許・資格

- ・中学校社会科 (総合経営学部) *
- ・中学校保健体育 (人間健康学部) *
- ・司書教諭資格 (総合経営学部)

* 時間割設定上取得が難しい場合もあり

スモールステップでの現場体験型学習



1年次
学校ボランティア活動
(半期週1回)

※ 本年度は教育実習以外 中止(P4参照)

早期から学校教育現場に触れることを重要視しています。1年次では後期から「学校ボランティア活動」で学校現場に行き、児童目線で活動します。2年次には、「学校インターンシップ」で現場に行き、教師の視点で活動します。このように様々な視点を持ち、ステップを踏み、教育実習や現場へと向かっていきます。

2年次
学校インターンシップ
(4日間)

3年次
初等教育実習
(3週間)

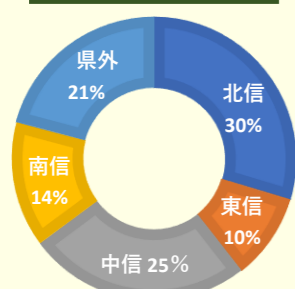
【初等・中等教育実習でお世話になる学校】

松本市 13校	長野市 8校	安曇野市 5校
上田市 3校	須坂市 3校	大田市 3校
塩尻市 2校	茅野市 2校	伊那市 2校
他県内 13校	他県外 6校	

4年次
中等教育実習
(3週間)
特別支援学校
教育実習(2週間)

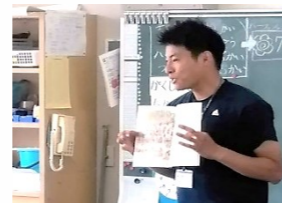
Students Data (1~4期生)

出身地の割合



地域別出身高校数

◆ 長野県 61校	◆ 県外 51校
・北信 16校	・新潟県 18校
・東信 11校	・山梨県 8校
・中信 20校	・静岡県 4校
・南信 14校	・石川県 4校
	・愛知県 3校
	・他都道府県 14校



特別支援学校 教育実習事前事後指導

「できない」のではなく「支援が足りない」と考えて

これから特別支援学校の教育実習が始まる4年生対象のオンライン講義で、長年特別支援教育に携わってこられた寿台養護学校(松本市)教頭 神屋 忍 先生からお話いただく機会を設けました。

ご自身の教育実習経験を語りつつ、特別支援学校の児童生徒の特性や関わり方について事例をあげてお話いただき、学生は特別支援学校での生活を具体的にイメージすることができ、貴重な時間となりました。



長野県寿台養護学校
教頭 神屋 忍 先生

特別支援学校 教育実習に向けて

- 特別支援学校では休み時間や給食の時間が長い、子どもたちにとって学校にいるすべての時間が大切な学びの時間だということが分かった。
- 「障害があるから」と決めつけるのではなく、その児童生徒にあった指導や関わりを行っていきたいと思う。
- 教育実習に行ったら、子どもの様子を観察してできることを伸ばせるようなことは何か、できないところはどうか支援していったらよいか考えながら子どもと接するようにしたい。(受講後の学生の感想より)

【特別支援学校教育実習】

- ・教育実習予定者 31名
- ・教育実習予定校
 - 長野県内 12校
 - 長野県外 2校
- ・実習期間 2週間
- ・実習時期 8月~12月

オーストラリア ニューカッスル大学

~1年間の留学を終えて~ 2年 内堀 栞利

教育学部での1年間の留学 第1号です。今後の社会情勢により、積極的推奨については熟慮が必要ではありますが、今後も英語教育の能力を備えた教員の育成に力を入れていきたいと思っています。



Q1 感じた手ごたえ 1年間の収穫は?

「世界って広いな」と思えるようになったことです。留学で学べたことは英語だけではなく、文化や環境の違いなどを肌で感じる1年間でした。

英語は、ホストマザーに言われて初めていつのまにか上達していることに気づきました。常時英語を話す環境にいたからこそその収穫です。今言えるのは「行って良かった!」それだけです。

Q2 具体的にはどんな違い?

例を2つあげると大学の広さと授業の形態です。大学の敷地内にバスが走っています。入口から真ん中まで20分は歩いていました。また、日本では前向きの授業がほとんどですが、語学学校では常にグループで席順は自由。そこでオーストラリアだけでなく、台湾、ベトナム、パキスタンと様々な国の友だちができ、自分が知らなかった文化、環境の違いなどにも触れました。この経験が異文化理解に大きく繋がったと思います。



Q3 ピンチだったことは?

車のエンストです。途方にくれて車を押ししていると、周りの方が車を停めて助けてくださいました。そして無事にガソリンスタンドについたらみんな風のように行ってしまい、オーストラリアの人々のやさしさとかっよよさに触れました。

Q4 一番の思い出は?

一つ上げるとしたら、ホストマザーの作る料理です(笑)。毎晩一緒に夕飯を作りました。料理上手なマザーで、イタリアン・インド・ギリシャ・フレンチ・中華などいろいろな国の料理を作ってもらい、今もマザーの作るギリシャ料理が恋しいです。



Q5 これからの自分

英語力を高いままでキープすることは必須です。また、オーストラリアで体験した自然災害や異常気象、出会った人々、うれしかったり辛かったりした全ての思い出と共に、貴重な海外での英語教育の経験を活かし、児童・生徒のグローバルな視野を広げることができる教員を目指してこれからの大学生活を送りたいと思います。

